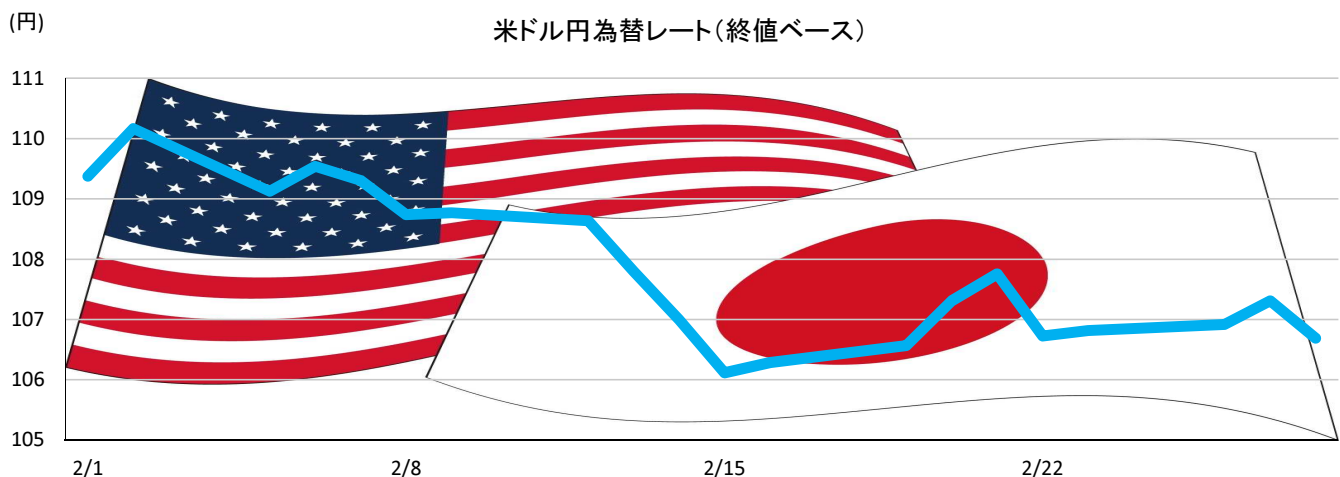


## MARKET REVIEW

**先月の振り返り:** 2月のドル円相場は、110円半ば～105円半ばで推移。月初に世界同時株安が発生した影響もあり、リスク回避の円買いとなった。その後も株式市場が落ち着きを取り戻さないことで金融市場全般に不安が拡大。トランプ大統領や麻生財務相の発言が市場に円高容認と受け取られ、一昨年11月以来の105円台まで円高が進んだ。その後は急激な円高に対する警戒感から下げ止まりを見せていたなか、パウエルFRB議長が議会証言で、利上げ回数を増やす必要性を検討する可能性を示唆したこともあり、107円台まで回復したものの、米国の保護主義政策に関する報道などから貿易戦争をもたらすのではという警戒から上値は重く、ドル安円高の流れは変わらなかった。



## EXTRA VISION

**今後の展開:** 直近では105円台までドル安円高が進行。これには複数の要因が挙げられるが、なかでもトランプ大統領の考えが一番のリスク要因となっている。特に保護主義政策についてかなり踏み込んだ発言があったことで、金融市場は揺れ続けている。鉄鋼などの追加関税や貿易戦争発言を繰り返している中、EUが対抗措置を考えていると報じられると、さらに再報復すると発言するなど騒動が拡大しかねない状況だ。ただ強いドルを望んでいるトランプ大統領が為替に言及しないとも限らないことから、ある程度の戻りは考えられるが、保護主義政策問題が解決しないことにはドル安円高の流れは今しばらく続いていくのではないだろうか。

今月の主な経済指標 ※ 日本時間

日付	時間	国	指標名	重要度
3 / 22 (木)	3 : 00	US	米連邦公開市場委員会 (FOMC)	☆☆☆☆☆
3 / 28 (水)	21 : 30	US	米GDP確定値	☆☆☆☆
3 / 29 (木)	17 : 30	GB	英GDP確定値	☆☆☆☆
4 / 2 (月)	8 : 50	JP	日銀短観	☆☆☆☆
4 / 6 (金)	21 : 30	US	米雇用統計	☆☆☆☆☆
4 / 11 (水)	21 : 30	US	消費者物価指数 (CPI)	☆☆☆☆
4 / 16 (月)	21 : 30	US	小売売上高	☆☆☆☆

本書面は、合同会社フィナンシャルヴィレッジプレゼンス(以下「当社」)が、投資一般に関する情報提供を目的とするものであり、投資の勧誘を目的としたものではありません。本書面に記載されている情報には将来的な業績や出来事に関する予想が含まれていることがありますが、それらの記述はあくまで予想であり、その内容の正確性、信頼性等を保証するものではありません。また、情報の正確性については万全を期しておりますが、その正確性、信頼性等を保証するものではありません。投資に関するすべての決定は、ご自身の判断でなされるようお願い致します。本書面に記載されている情報に基づいて被ったいかなる損害についても、当社及び情報提供者は一切の責任を負いません。